14C5 (2) 7-						【Plan】 計画		【Do】 実	施									+		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号	<u>.</u>	SDGs まな SDGs	基本計画の施策を構成する	主要事業			事業評価の)成果指標(目標・	実績)			・成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件	費(目	安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて
施策番号 施策名	No.	SDGs 主な ュール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活力 ある豊かな社会を実現す	子育て中の労働者で 仕事と生活の両立が		目 単年度目標標 なし	単年度目標なし	2013年度の 水準より増 加							課長	0.30 人		北九州市女性活躍・ワークラ		2017年8月に設立した「北九州
I-1-(1) ① 仕事と子 育ての 立支援		8 8 10	ワーク・ライフ・ バランス推進事業		るため、「北九州市女性 活躍・北クランス・北海の東土 ・北クランス、在 ・北海の東田・北京 ・大学の東田・大学 ・大学では、 ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学を ・大学 ・大学	図られていると感じる人の割合 ※「現状値」及び 「中期目標」は、 「元気後進!子ども プラン(第2次計	41.0% (2013年度)	実 53.4 %			2013年度 (41.0%)の 水準より増加 (2019年度)	継続	9, 193	8, 812	維持	10, 700	係長	0.50 人	順調	イフバランス表彰の実施やワーク・ライフ・バランス推進に関する企業へのアドバイザー等の派遣、各種セミナーの開催等により、子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合が、上昇するよ	順調	イク業の 一位業中の 一位業中の 一位業中の 一位業中の 一位業中の 一位業中の 一位、 一位、 一位、 一位、 一位、 一位、 一位、 一位、
					活の調和(ワーク・ライ フ・バランス)の推進を 図る。	画)(2015~2019年 度)」掲載内容		達 成 率									職員	0.30 人		うに継続的に実施する。		ていく。

					【Plan】 計画	■ / 【Do	o】 実施										[Check]	評価	/ [A	Action】改善
番号	SDGs ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	SDGs 基本計画の施策を構成する	主要 事業			事業評価の成果指	指標(目標・実績)			成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件	費 (目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて	I	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて
番号 策名	No. ゴール 番号	SDGs ゴール 番号 基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017) H30年 (2018	度 R1年度 (2019)	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位人数	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
(2)- 方過 13月 13月 14日 14 14					女性役職者(係長級 以上)比率	15.6% (2013年度) 達成率	_	%	20% (2018年 度)						課 長 0.10	,				(仮称)「九州市職ラン、 ボルイフに基本では、 ボークーム」が、 ボークーム」が、 ボークーム」が、 ボークーム」が、 でフグラカ開発にいていていていている。 でするによります。 大学にはいいでは、 では、 大学には、 、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 大学には、 、 大学には、 、 大学には、 大学には、 大学には、 、 大学には、 大学には、 大学には、 、 大学には、 、 、 、 大学には、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	2 ⑤	「女性活躍推進ア (5) クションプラン」 実施及び市職員次	女性 活躍	性別にかかわらず職員 が能力を発揮し、いきと活躍できる職場(しまりを実現するため、「北九州市職員女性 を実現するため、女性		12.0% (2013年 度) 達成率	_	8	15% (2018年 度)	- 継続	3, 198	3, 198	維持	5, 900	係 0.40	人順調	引き続き、制度の周知・ を通じて、職員のキャリア 支援やワーク・ライフ・バスの一層の推進を図ってい 【中期目標の変更内容】 女性役職者及び女性管理	形成 ラン く。		業を取り扱う施設等との役 担、連携、事業内容の見直 どに取組み、地域のニーズ した公募制の広報啓発事業 を通じて、男女共同参報活 形成の推進に向い実施する。
	2 3	8 実施及び市職員次 世代育成支援事業	課	施する。	女性役職者(係長級 以上)比率	17.6% (2018年度) 達成率		単年度目標なし	23% (2023年 度)	· 神圣·沙℃	3, 196	3, 198	神田 行	5, 900	長 0.40		女性仮職有及び女性管理 ついて、全職員ベースから 員及び消防職員を除いた割 変更。 (目標を設定している計画 2019年度に改定されること うもの)	教職 合に が、		
					女性管理職(課長級 以上)比率 (教職員、消防職員 を除く) ※中期目標改訂	13.6% (2018年度) 達成率		単年度目標なし	15% (2023年 度)						職 0.10					
				国における「まち・ひ と・しごと創生総合戦 略」の策定や「女性の職 業生活における活躍の推	部課長級の多面評価 「イクボス10か条を 実践できている管理 職の割合」 ※中期目標改訂	88.0% 点	94.0 %	90 %	95% (2023年 度)						課 0.20		テレワークの試行実施に たっては、実施部署を増加 るとともに、部署単位で実 る働き方見直し実践部署コ	させ 施す ンサ		
	3 8	⑤ ⑧ ① 世事業	女性 活躍 推進 課	進どダンバを加え職どに関多様やシー(動力を加え職とよりす様で、イトラ推速、場、よいで、イトラ推連をでいるのでので、ではなって、のので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので	男性職員の育児休業 等取得率	2.5% (2008年度) 達成率	15.4 %	%	20% (2018年 度)	継続	3, 900	4, 500	増額	8, 800	係 0.50	人 順調	ルディング等で効率的な動の実現を引き続き行う実践を引き続きれる。 また、単独場風土の醸成も引き実施する。 「中期目標の変更の各目標の関する目標ので関する。 「中期目標の変更の各目標を90%から95%に変した。	図 り続 目 し		
				組織・人員体制をもって、更なる市民サービスの向上を図る。	男性職員の育児休業 取得率	14.8% (2017年度) 達成		単年度目標なし	30% (2022年 度)						職 0.20	,	(目標を設定している計画 2019年度に改訂されること うもの)	が、 に伴 		

						【Plan】 計画		【Do】 実施											【Check】 評価	/ [A	Action】改善改善
号 No	SDGs 主な	SDGs	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の	の成果指標(目標・実績)			成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件套	貴 (目安)		H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて
i NO	番号	is SDGs ゴール 番号	主な事業・取組	所管課名	学 术· 权恒侧女	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 H30年 (2017) (20		中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法
					ター・ムーノ及ひ勤カ婦	性別による固定的役 割分担意識に肯定的 な人の割合	26.7% (2017年 度)	2011年度 (38.7%)の 標本より減 少 実 績	6)の 単年度目標 り減 なし	2017年度 (26.7%)の水 準より減少 (2022年度)						課 0.	30 人		男女共同参画社会の形成の推 進に向けたイベントや講座の開 催、就業・キャリアップ支援、		
4	5		男女共向参画センター及び勤労婦人 センター管理運営	男女 共同 参画	人センター・レディス (もじ・やはた)におい て、施設の運営をはじ め、地域に根ざした男女 共同参画推進、女性リー ダー育成、就職・再就職		(交)	達成率 131.0 %			継続	330, 163	330, 272	維持	8, 950	係 長 0.	40 人	順調	権、税条・キャックラク技、 相談などの事業を実施する。 講座等の実施に当たっては、 より多くの参加に結びつくよ う、内容等の見直しや、広報・ 周知方法の工夫を行う。		
			事業	課	に向けた就業・キャリア アップ支援、あるいは相 談事業など、様々な事業 を展開し、男女共同参画 社会の形成を推進する。	男女共同参画社会と	69.7% (2017年 度)	達	% 単年度目標 なし	80% (2022年 度)						職 0.	20 人		【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が 2019年度に改訂されることに伴い、中期目標の基準年度を2011 年度から2017年度に変更する。		
						男女共同参画社会という言葉の認知度	68.9% (2011年 度)	成率 — 80	%	80% (2018年 度)						課 0.	20 人		若年層や男性の参加者数が増 加するよう、講座や講演、イベ		
5	5 5		共同参画推進啓発 事業【男女共同参 画広報・啓発事	共同 参画 推進 課	地域における男女共同 参画の推進を図るため団 地域で活動している団 体・グループ等が企画・ 実施する広報啓発活動画 支援し、男女共同を 関する理解を深める。			達成本 日 2011年度 2011: (38.7%)の (38.7%)の 水準より減 少 水準より減 水準	%) 単年度目標 より なし		継続	3, 483	3, 498	維持	5, 050	係 0.	20 人	順調	ントの開催内容や時期、PR手法等を工夫し、改善に向けた取組みを引き続き行う。 【指標追加の理由】 目標を設定している計画が2019年度に改訂されることに伴い、事業の成果がより適切にわ		
						割分担意識に肯定的な人の割合 ※指標追加	26.7% (2017年 度)	実 績 26.7 % 達 成 131.0 %		2017年度 (26.7%)の水 準より減少 (2022年度)						職 0.	10 人		かる固定的役割分担意識に関する指標に変更する。		

					【Plan】 計画		[Do]	実施										【Check】 評	西 / 【	(Action】改善
番号	SDGs 主な	SDGs コール 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		事業評価の	の成果指標(目				成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件	費 (目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・目直した内容	H29年度 (2017)	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
策名	番号	番号 主な事業・取組	所管課名	学 术:	指標名等	現状値 (基準値)	H29±	E度 H30年度 7) (2018)	R1年度 (2019)	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 人数	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	
(2)・・スと調推	6 8	⑤ ⑧ バランス推進事業	女性 活進 課	を 大活現女バ中支、活とう進 を を を を を を を が を を が の を の の に で を が の の に で を が の の に で を が に の の の の の の の の の の の の の	子育では 中の労働者立 で 中生生でいる と で で が し る が に り の り の り の り り り り り り り り り り り り り	41.0% (2013年度)			2013年度の 水準より増 加	2013年度 (41.0%) の 水準より増加 (2019年度)	継続	9, 193	8, 812	維持	10, 700	課長 0.30 係長 0.50 職員 0.30	人順調	北九州市女性活躍・ワークディンパランス表彰の実施進にでいる企業をでいる企業をでいる。 する企業を種セミナーの開者にいる。 では、各種では、一の開者では、 はより、子育では、上野・ と生活のの割合が、上昇・ では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	関のこまと	2017年8月2017年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年7年
					ワーク・ライフ・バ ランスが取れている と感じる職員の割合	71.6% (2013年 度)	目標 単年度な 実績 達成率	%		85% (2023年 度)						課 0.10	۸			着実に実施していく。
	7 ⑤	「女性活躍推進ア (5) (2) (3) (3) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	女性	性別にかかわらず職員 が能力を発揮し、いきと活躍できる職場できるため、員が りを実現れ九州市職員が が)「・ワークでラム」 活躍・プログラム」	割合 ※ 中期日煙改訂	69. 9% (2014年 度)	標な	%	75 %	80% (2023年 度)	₩続	3, 198	3, 198	維持	5, 900	係長 0.40	人順調	引き続き、制度の周知・活所を通じて、職員のキャリア形が支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。 【中期目標の変更内容】 両立しながら新たな業務等	或 シ 	
	7 3	⑧ 実施及び市職員次世代育成支援事業	課	フス推進プログラム」 (計画期間:2019~2023 年度)に基づき、職員の 年ャリア形成支援やワーク・ライフ・ババランの 推進に向けた取組みを実施する。		2.5% (2008年 度)	目標 単年度な 実績 達成家 一	%		20% (2018年 度)	神巫神死	3, 198	3, 196	推行	5, 900	長 0.40	人 順	間がしながら新たな未務等は チャレンジしたいと思う職員に 関する目標変更した。 (目標を設定している計画が、 2019年度に改訂されることに うもの)	-	
					男性職員の育児休業 取得率	14.8% (2017年 度)	目標		単年度目標なし	30% (2022年 度)						職 0.10	۸			

						【Plan】 計画		Do】 実施								•		【Check】 評個		Action】改善
施策番号	SDGs 主な	S SDGs コール 番号	本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要			は果指標(目標・実績)			成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件:	費 (目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・目直した内突	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・施策名	番号	番号	主な事業・取組	所管課名	于不 · 4人加加女	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017) H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 人数	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	(課題に対する改善方法等)
					国における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や「女性の職業生活における活躍の推	部課長級の多面評価 「イクボス10か条を 実践できている管理 職の割合」 ※中期目標改訂		目標 単年度目標 実績 94.0 % 達成 —	90 %	95% (2023年 度)						課 0.20 人		テレワークの試行実施にあたっては、実施部署を増加させるともに、部署単位で実施る働き方見直し実践部署コンナ	-	
	8 8	(5) ダ (8) (1) (1)	[*] イバーシティ推 事業	女性 活躍 推進 課	(進どダンバを加え、職と、 (本すメ・)の は、イトラー(ものをかって、 は、イトラー(ものをかって、 は、イトラー(ものをかって、 は、イトラー(ものをかって、 はな、イトラーで、 はないで、	男性職員の育児休業 等取得率	2.5% (2008年 度)	目標 単年度目標 20 % 実績 15.4 % 達成率 一		20% (2018年 度)	継続	3, 900	4, 500	増額	8, 800	係 0.50 人	. 順調	ルースング等での実現を対して、 の実現を引き続き行う実践を図り、また、イクボスの実践を図り、男性職員も育児等に関わる。 は、男性職員風土の醸成も引き終めまする。 【中期目標の変更内容】 イクボスに関する目標は、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E で表現して、E である。 に に である。 に である。 に である。 に で で で で で で で で で で で で で	5) も	
					により、簡素で効率的な 組織・人員体制をもっ て、更なる市民サービス の向上を図る。	男性職員の育児休業 取得率	14.8% (2017年 度)	目標実績達成率	単年度目標なし	30% (2022年 度)						職員 0.20 人		た。 (目標を設定している計画が、 2019年度に改訂されることに伴 うもの)	ŧ	
								目 — 70 %	単年度目標なし							課 0.20 人		DV啓発リーフレット等の公共施設等への配布を継続するとともに、効果的なPRの実施に努める。 専門的な知見を持つNPO等と携して高校・大学等でデートD	<u>:</u>) 連	
Ⅱ-3-(2)- ③ 性別によ る人権侵 害行為の 根絶	9 ⑤		一画推進事業【配	課	し、茶刀で台沁しない思	配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合※中期目標改訂	71.1% (2017年 度)	実 71.1 %		80% (2022年 度)	継続	6, 966	6, 444	減額	5, 050	係長 0.20 人	. 順調	予防教室を引き続き行う。 警察など関係機関との連絡会議の開催などによる情報の共存や交換を行う。 なお、「男女共同参画基本言画推進事業」の総額は減額になっているが、DVに関する予算額は維持している。	計	若年層への取組みは重要であり、男女共同参画の意識の醸成を図る取組みや、高校・大学などでのデートDV予防教室の開催、DV啓発リーフレット配布の取組みなどを継続していく。
								達 成 — 率								職 0.10 人		【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が 2019年度に改訂されることに伴い、目標値を70%から80%に変す した。	¥	

					【Plan】 計画		【Do】 実施										【Check】 評価		Action】改善
를 김	SDGs 主な	SDGs コール 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要		I	成果指標(目標・実績)			ル末の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費		費 (目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・目南 L た内容
<u>'</u>) –	No. ゴール 番号	ョール 主な事業・取組 ・取組	所管課名	学术 机加加及	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017) H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 人数	事業評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等) 女性活躍に取組む企業への
5					女性役職者(係長級 以上)比率	15.6% (2013年 度)	世年度目標 20 % 実績 18.3 % 達成 —		20% (2018年 度)						課 0.10 /			順調	援や、女性管理職のスキルプや企業横断のなったりで、 で、女性管的ななったので、 で、で、で、ないで、ないで、ないで、ないで、で、で、ないで、ないで、ないで、ない
	10 ⑤	「女性活躍推進ア クションプラン」 ⑧ 実施及び市職員次	女性 活躍	性別にかかわらず職員がとお難し、職者で発揮し、職者できるにいまるを表現するため、「北九州市職員がく仮性活躍・ワークラム」	女性管理職 (課長級 以上) 比率	12.0% (2013年 度)	目標 単年度目標ない 15 % 実績 14.8 % 達成率		15% (2018年 度)	継続	3. 198	3. 198	維持	5, 900	係長 0.40 /	川頂調	引き続き、制度の周知・活用を通じて、職員のキャリア形成支援やワーク・ライフ・バランスの一層の推進を図っていく。 【中期目標の変更内容】 女性役職者及び女性管理職に		また、(仮称)「北九州市員女性活躍では、「大力」に基づりまれて、「大力」に基づりまり、「大力」に基づりまれて、女性では、「大力」に基づりまれて、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では
		⑧ 実施及び市職員次世代育成支援事業		(計画期間:2019~2023 年度)に基づき、職員の キャリア形成支援やワー ク・ライフ・バランスの 推進に向けた取組みを実 施する。	女性役職者(係長級 以上)比率 (教職員、消防職員	17.6% (2018年 度)	 	単年度目標なし	23% (2023年 度)	सब्द संघ्रा	3, 190	3, 190	和社行	3, 900	長 0.40 2		マになる場合の公文は自体制について、全職員ベースから教職員及び消防職員を除いた割合に変更。 (目標を設定している計画が、2019年度に改定されることに伴うもの)		成をない。 は、 でない。 でない。 でない。 でない。 でとの見でいる。 でいるのは、 でいる。
					女性管理職(課長級 以上)比率 (教職員、消防職員 を除く) ※中期目標改訂	13.6% (2018年 度)	皇績達成率	単年度目標なし	15% (2023年 度)						職 0.10 /				
				国における「まち・ひ	部課長級の多面評価 「イクボス10か条を 実践できている管理 職の割合」 ※中期目標改訂	88.0% (2015年 度)	目標 単年度目標なし 実績 94.0 % 達成率 一	90 %	95% (2023年 度)						課 0.20 /		テレワークの試行実施にあ たっては、実施部署を増加させ るとともに、部署単位で実施す る働き方見直し実践部署コンサ		
	11 ⑧	⑤ ⑧ がイバーシティ推 進事業		進どダンバを加え職と、 は、イトラーでものかきりのでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、イトラーでは、 は、、イトラーでは、 は、、 は、、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	男性職員の育児休業 等取得率	2.5% (2008年 度)	目標 単年度目標 20 % 実績 15.4 % 達成 一		20% (2018年 度)	継続	3, 900	4, 500	増額	8, 800	係 0.50 /	順調	ルディング等で効率的な働き方の実現を引き続き行う。 また、イクボーの実践を関り、また、イクボーの実践を関い、 リ、サリ、地質は、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、サリ、 リ、 リ、リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、 リ、		
				により、簡素で効率的な 組織・人員体制をもって、更なる市民サービス の向上を図る。		14.8% (2017年 度)	目標実績達成	単年度目標なし	30% (2022年 度)						職員 0.20 /		保		

						【Plan】 計画		DO』 美肔								7		【Check】 評価 		Action】改善
	SDGs 主な	SDGs 基本計画	の施策を構成する 事業・取組	* 事事 *	± 3% T5 /D 107 T5		事業評価の成	果指標(目標・実績)			成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件:	費 (目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向け
ı	No. ゴール 番号	番号	事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017) H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額 (千円)	職 人数	事業 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	局施策 評価	強化・見直した内容 (課題に対する改善方法
						女性の就業率(25~	65.9% (2010年		70 %	70% (2019年						課 0.60 人				
	12 ⑤	4 5 8 女性輝	き!推進事	女性活躍	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、企業への働きか		査)	達 成 — 率		度)	継続	9, 800	9. 854	維持	18. 400	係 0.70 人	順調	シンポジウムや管理職研修参加者のアンケート満足度や、ダイバーシティ行動宣言等登録・		
		意		課	るよう、企業への働きからいたでは、 いたでは、 いたでは、 はなどを行う。 では、 はなどを行う。	ダイバーシティ行動	597社	目 単年度目標 単年度目標 なし なし	1,200 社	1, 200社	112.120	2, 222	2, 22 2	4213	,	長	-	届出企業数が増加するよう、引き続き実施する。		
						宣言等登録・届出企業(累計)	(2014年 度)	実績 1,106 社		(2019年 度)						職 0.60 人				
					女性の就職・キャリア	女性の就業率(25~ 44歳)	65.9% (2010年 国勢調	目 単年度目標 様 なし 単年度目標 ましまする。 実績	70 %	70% (2019年 度)						課 0.30 人		国・県と引き続き連携し、		
	13 8	⑤ 8 フェ北 ① 業	ンワークカ 九州運営事	推進	女性の就職・キャリア アップ・創業などをワン ストップで支援する 「ウーマンワークカフェ 北九州」を運営する。			成 — 目標 3,300 人 3,600 人	·		継続	30, 600	31, 933	維持	11, 200	係 0.40 人	順調	「ウーマンワークカフェ北九州」の周知・集客を図ることで 利用者の掘り起こし及び就職決 定率の向上を目指す。		
						ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	_	実 績 達成 ^{99.3} %		4,000人 (2019年 度)						職 0.50 人				
		(4)			女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの	女性の就業率(25~ 44歳)	65. 9% (2010年 国勢調	単年度目標なし	70 %	70% (2019年 度)						課 0.30 人		事業の編成を見直したため、 全体としては減額となったが、 引き続き女性の就業に関する実 態調査の結果を踏まえ、未就業		
	14 8	(5)	改革先進都	課	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			成本 目標 3,600 人		4, 000人 (2019年	_	6, 500	2, 580	減額	10, 700	係 0.50 人	_	女性の就業ニーズと家庭との両立などの課題解決に向けた就業 支援を実施する。 また、女子中学生向け理工系 職業体験プログラムが昨年度好		
					る。 	オール 一番数		達成		度)						職 0.30 人		評だったことから、規模を拡大 して実施する。		

総務局						【Plan】 計画		【Do】 実施	拖									+		[Check]	評価	/ L	Action】改善
施策番号		SDGs ± tr	基本計画の施策を構成	· オス + m 東 **			事業評価の	成果指標(目標・	実績)			成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費	人件	費(目	安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて		H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて
・施策名	No.	エグコール 番号	基本計画の施策を構成 主な事業・取組	所管課名	事業・取組概要	指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	中期 目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職位	人数	事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
					戦後71年が経過し、悲惨な戦争の記憶の風化が 懸念され、戦争の記憶を			目	建築工事 等設計業 務の着手	建築工 事・展示 製作等の 実施							課長	1.00 人		2018年度に策定した基本 施設計に基づき、施設整備	・実 iを進		
	15	4 4	(仮称)平和資 館建設事業	料総務課	後世に伝えることが重要、 したでいる。されている。 ではないではないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はない。 はない。 はない。 はない。 はな。 はない。 はない。 はない。	(仮称) 平和資料館 の建設	_	懇話会開 実 催、基本計 績 画の策定			(仮称)平 和資料館の 建設		52, 400	45, 000	減額	29, 000	係長	1.00 人	順調	めるとともに、2019年度は 者等の専門的な見地からの も聴取し、展示資料の詳細 討の他、資料館の自主事業 営体制等についても具体的	有識)意見 な検 ・運		戦後70年余りが経過し、戦争 を知らない世代の方がほとんど となるなか、悲惨な戦争の記憶 が風化するニトへの懸念があ
Ⅱ-3-(4)· ① 平和の尊	-				するため、新たに「(仮 称)平和資料館」の建設 に向けた取組みを行う。			達 成 — 率									職員	1.00 人		討を行う。	, 6 12	順調	が風化することへの懸念があり、本市で起きた戦争の惨禍や平和の大切さを伝える必要があることから、「(仮称)平和資料館」の建設に向けた取組みを行う。
さへの理解の促進					本市の平和に対する基 本的姿勢を示す「北九州 市非核平和都市宣言」に			目	_	-							課長	0.10 人		引き続き、平和の願いかられた「嘉代子桜・親子桜 市内への植樹、長崎市が主	後」の		また、引き続き「嘉代子桜・ 親子桜」の植樹、長崎市が主催 する「青少年ピースフォーラ ム」への小中高校生の派遣、親
	16	4	非核・平和推進 業	事総務課	込められた平和への願い を市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を 風化させることなく次の	理解し、共有してい	_	実			市民が平 和の尊さ を理解す ること	継続	10, 000	10, 000	維持	6, 400	係長	0.30 人	順調	る「青少年ピースフォーラ への小中高校生の派遣、親 平和の尊さを考える「長崎 和派遣」の実施等に取り組 また、非核平和都市宣言10	l子で i市平 lむ。		子で平和の尊さを考える「長崎 市平和派遣」の実施等に取り組 む。
					世代に伝えるため、事業を実施するもの。			達 成 — 率									職員	0.30 人		事業として、広く市民に平想いを伝える取組を実施す	和の		
					庁内の各所管理が個別		安定稼動	標	安定運用	安定運用	ΔΨ ≤塩 Φη ₹> ミィフ						課長	0.20 人					
				桂北	理情報システム)を集約 することで、庁内全体の GIS運用経費を削減する		(H26年 度)	達成 一			継続的なシス テム安定稼動									継続して庁内のGISの集	約を図		
	17		全庁GIS(統合型GIS)構築運用電	政策課	とともに、庁内で情報を 共有することにより、業 務の効率化を図る。 また、共有したGIS情 報のうち、公開可能なも		庁内向け	字	110	庁内向けGIS: 120 地域情報ポータ ルサイト:330	2019年度 庁内向けGIS	継続	32, 033	32, 376	維持	16, 050	係長	0.40 人	順調	り、GIS情報の庁内共有に 務の効率化に取り組むとと に、更なる利用者増を目指 て、GIS研修会を実施する。	t il		
					のは積極的に市民に公開することにより、市民 サービスの向上を図る。	全庁GISに搭載する 主題図数	GIS:60 地域情報 ポータル サイト:98 (H26年 度)	実 (54 (54 地域情報ポータ ルサイト: 300			庁内向けGIS 主題図数: 120 地域情報ポー タル向け 主題図:330						職員	1.30 人					全庁GISは、庁内での利用増加
Ⅲ-1-(3)· ④ 高度情報	-							94.0 %	3.000 件	4 500 #												順調	に伴うデータ作成・更新作業を 確実に行うとともに、システム 障害に対応する体制の整備や市 民への周知活動に継続して取組 む。
社会への対応						オープンデータサイ トアクセス数(月平	791件 (2017年	票 積 791 件	3,000 14	4, 500 14	5,000件(2021年度)						課長	0.20 人		2016年12月官民データ活 進基本法の施行及び2017年 北九州市官民データ活用拍 本条例の制定を受け、本市	12月 進基		で民データ活用推進については、国の動向等を踏まえ、手続きオンライン化の推進やオープンデータ利活用推進に向けた取組みを進めていく。
				l±+0	2016年12月官民データ 活用推進計画基本法施 行、2017年12月北九州市 官民データ活用推進基本	均)	度)	達成率			(2021年度)									いては、官民データ活用拍 ための計画を策定し、各種 を実施することとなった。 計画は、本市のIT総合計	進の 施策 ·画的		社のではほのことで、
	18		官民データ活用 進事業	推政策課	条例制定を受け、で言民 データ活用推進のための 計画を策定し、その計画 の実施(計画見直し含 む)、進捗管理等を行			目標	505,000件	516,000 件			2, 000	4, 200	増額	15, 550	係長	0.50 人	_	位置付けとし、2019年6月1 予定、2019年度から2021年 での3年間を計画期間とす お、計画は国の動向等を踏 え、随時改定を行う。	度ま る。な る。な		
					う。	電子申請件数	501, 000件 (2017年 度)	実 501.000 件			531,000件(2021年度)						職	1.10		2018年度は、「官民デー 用推進計画策定」という事 で実施していたが、2019年 計画に基づき、各種施策を するにあたり、事業名を変	業名 度、 実施		
								達成率									員	1.10 人		t=.			

総務局					【Plan】 計画		[Do]	実施										[Check]	評価 /	[/	Action】改善
施策番号 施策名	SDGs No. 主な	SDGs ゴール 番号 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要			の成果指標(目				成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費		費(目安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		年度 017)	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
・ 他 束 石	番号	番号 土な争未・収和	別官硃石		指標名等	現状値 (基準値)	H29± (201	E度 H30年) 7) (2018	度 R1年度 (2019)	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)		施策平価	(課題に対する改善方法等)
Ⅲ-3-(3)-				本市の自治の基本的 ルールを定めた「北九州 市自治基本条例」(2010 年10月1日施行)の意義			目	-	-							課 0.10	٨	5年に一度行うことと定めている「条例に基づいた市」 営の評価検討」を行うとと	られ 数運		市民が主役の自治(市民自
① 市民参働の ためのづ 組みづく	19 🗇	北九州市自治基本 条例推進事業		や理念などを多くの市民	市民が主役の自治(市民自治)の確立	_	実 <u></u> 績			市民自治 の確立	継続	1, 049	2, 718	増額	4, 650	係 0.20	人順調	に、引き続き、市民向けの別活動や職員に対する研修等: 施する。また、条例の認知別低い若い世代への周知を図	問知 を実 順 をが るた	調	(市) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日
5				目指すまちづくりができ るよう、職員向けの研修 を行う。			達 成 — 率									職 0.20	٨	め、大学等への出前講演なる 取り組む。	215		12,000,000
				誰もが多様な働き方や 生き方を選択でき、活力 ある豊かな社会を実現す	子育て中の労働者で 仕事と生活の両立が		目 単年度標 な	目標 単年度目 なし	3標 2013年度の 水準より増加) de						課 0.30	,	北九州市女性活躍・ワーク	ا 5 خ		2017年8月に設立した「北九州
Ⅲ-3-(3)- ③ 企業の地 域活動へ の参 進	20 8	⑤ ⑧ バランス推進事業	女性活躍	るため、「北九州市女性活躍・北九州市女性活躍・ワークライを大力・フークランは 大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大	図られていると感じる人の割合※「現状値」及び	41.0% (2013年度)	実 53.4	%		2013年度 (41.0%)の 水準より増加 (2019年度)	継続	9, 193	8, 812	維持	10, 700	係 0.50	人順調	イフバランス表彰の実施や ク・ライフ・バランス推進 する企業へのアドバイザー 派遣、各種セミナーの開催 より、子育て中の労働者で と生活の両立が図られてい 感じる人の割合が、上昇す	フー フラリン 等の 手に ル 七事	乭調	イクボス同盟」を中心に、市内 企業等へイクボスを推進し、 育て中の労働者で仕事と生活の 両立が図られていると感じる人 の割合が、今後もさらに上昇し ていくよう、各種支援を通じ て、企業の「働き方の見直し」
				活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を 図る。	画)(2015~2019年)		達 成 率									職 0.30	\ \	うに継続的に実施する。	24		にかかる意識改革を一層推進していく。
IV-3-(2)- ① 若年者の 就業意識		④ ⑤ ⑥ 働き方改革先進都	女性	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理エチャレンジ」体験		65.9% (2010年 国勢調 査)	目標実績達成率	単年度度なし		70% (2019年 度)						課 0.30		事業の編成を見直したたる 全体としては減額となったが 引き続き女性の就業に関する 態調査の結果を踏まえ、未 女性の就業ニーズと家庭と	が、 る実 就業 D両		女性の就業に関する実態調査 の結果を踏まえ、未就業女性の 就業ニーズと家庭との両立など の課題解禁に向け、求人側、第本
の能発活支 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	21 8	高 物さ方以中先進都市事業	活躍進	プログラムや、子育に女性向け就業支援等、将来にわたっての多様な働き方の実現をさらに推進する。	ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	_	目標実績達成率	3,600	人 4,000 人	4, 000人 (2019年 度)	_	6, 500	2, 580	減額	10, 700	職 0.30		立などの課題解決に向けた記支援を実施する。また、女子中学生向け理職業体験プログラムが昨年調だったたとから、規模を打して実施する。	就業 - · 正系 度好		職側双方に向けた就業支援等を 実施する。 また、女子生徒向け理工系職 業体験プログラム実施等、将来 にわたっての多様な働き方の実 現を推進する。

						【Plan】 計画	i /	【Do】 実施											【Check】 評f	5 /	[Ac	tion】改善
施策番号 • 施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業	事業・取組概要			成果指標(目標・実績)	# D1/F#	± #0	成果の	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	事業費の増減		費(目	安)	H29年度 (2017)	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年 (2017	7)	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
一儿水石		番号 番号	エび事業・収価	MERT		指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 H30年 (2017) (201 2011年度 2011年	3) (2019)	中期目標	方向性	予算額 (千円)	予算額 (千円)	の増減	金額(千円)	職 位	人数	事業評価	(課題に対する改善方法等)	局施5 評価	策 5	(課題に対する改善方法等)
	22	(4) (5) (8)	男女共同参画セン ター及び勤労婦人	男女共同	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・はた)において、施設の運営をはじり、地域ではなりませる。	※中期目標改訂	26. 7% (2017年 度)	2011年度 (38.7%)の (78.7%)の 水準より減 少	り減 なし	2017年度 (26.7%)の水準より減少 (2022年度)	- 継続	330, 163	220, 272	維持	8, 950	課長係長	0.30 人	順調	男女共同参画社会の形成の打進に向けたイベントや講座の間催、就業・キャリテップする。 相談などの事実施たっては、 対多くの参加に結びつくよ う、内容等の見直しや、広報	É		
	22	100	・センター管理運営 事業	課	共同参画推進、女性リー ダーのでは、大性リー が一のでは、大学・中では、 では、大学・中では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		69. 7% (2017年 度)	目標 — 80 実績 69.7 % 達成率 —	% 単年度目標 なし	80% (2022年 度)	ing nyu	330, 103	330, 212	NE. 1 1	0, 330	長職員	0. 20 人	ניעם אויו	周知方法の工夫を行う。 【中期目標の変更内容】 目標を設定している計画が 2019年度に改訂されることに何い、中期目標の基準年度を201 年度から2017年度に変更する。	<u>¥</u> 1		
	23		女性輝き!推進事 業	女活推課	女性が職場や家庭、地域において、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、企業への働きかけや管理職研修・ネット		杏)	達成 一 単年度目標 単年度	, なし	70% (2019年 度)	- 継続	9, 800	9, 854	維持	18, 400	K	0.60 人	順調	シンポジウムや管理職研修参加者のアンケート満足度や、タイパーシティ行動宣言等登録届出企業数が増加するよう、5	ľ	244	男女共同参画社会の形成の推 些に向けた効果的な取組みを実
IV-3-(2)- ② 女性すがる で がる で がる で が る で が る で が る で が る 市 が も が る で が も が も が も り の も り の の の も り の の の の の も り の の の り の の り の の り の り					ウーク形成支援、創業支援などを行う。	ダイバーシティ行動 宣言等登録・届出企 業(累計)	597社 (2014年 度)	標 なし なし ま 1,106 社 達成	目標 -70 %	1, 200社 (2019年 度)						職員	0.60 人		き続き実施する。		施り携組 ヘルワ	に別ないないない。 対しない。 対しない。 対しない。 がい、他の類割分担に取る。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい
進	24	8 8	ウーマンワークカ フェ北九州運営事 業	無進	女性の就職・キャリア アップ・創業などをワン ストップで支援する 「ウーマンワークカフェ			実		70% (2019年 度)	- 継続	30, 600	31, 933	維持	11, 200	K	0.30 人	順調	国・県と引き続き連携し、 「ウーマンワークカフェ北九 州」の周知・集客を図ることで 利用者の掘り起こし及び就職※		州創	プウーマンワークカフェ北九 り」を運営し、引き続き女性が 引業しやすい環境づくりへの取 引みや就業支援等の充実を図っ こいく。
				环	北九州」を運営する。	ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	_	集		4, 000人 (2019年 度)						職員	0.50 人		定率の向上を目指す。			
	25	8 8	働き方改革先進都 市事業	女性 活躍	女性の理工系分野への 関心を高めることを目的 とした女子中学生向けの 「理エチャレンジ」体験 では対するでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		査)	達成率		70% (2019年 度)		6, 500	2, 580	減額	10, 700	K	0.30 人	_	事業の編成を見直したため、 全体としては減額となったが、 引き続き女性の踏業に関する引 態期合の結業ニーズと家庭との可 立などの課題解決に向けた就 支援を実施する。	É		
				課	性向け就業支援等、将来 にわたっての多様な働き 方の実現をさらに推進す る。	ウーマンワークカ フェ北九州新規利用 者数	_	目標 実績 達成率	人 4,000 人	4,000人 (2019年 度)						職員	0.30 人		また、女子中学生向け理工系職業体験プログラムが昨年度数評だったことから、規模を拡大して実施する。	?		

花功元					【Plan】 計画		【Do】	尾施								•		【Check】 評価	/ [/	Action】改善
施策番号 ·施策名	SDGs 主な ュューノ 番号	S SDGs 基本計画の施策を構成する ュール 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	指標名等	事業評価の 現状値 (基準値)	成果指標(目標 H29年) (2017		R1年度 (2019)	中期目標	- 成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費の増減	金額	職位人	H29年月 (2017 事業 評価) R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (理題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
▼ 3 社や題関際推 1 会社などる力 (3) 度問に国の		④ (公財) アジア女⑤ 性交流・研究① フォーラム事業	男共参推課	収域フ「の「供様(公明支 「集還ェかの「供様(公明技 を属して、ののででででででででででででででででででででででででででででででででででで	男女共同参画社会と 性別に意識に は意識に おき は は は は ま は ま は ま ま は な と	68.9% (2011年 度) 26.7% (2017年 度)	達成率 2011年目 (38.7% 標 水準少)	80 % 96 2011年度 の (38.7%) の 水減少	単年度目標	80% (2018年 度)	- 継続	48, 000	42, 000	減額	4, 050	課長 0.20 係長 0.10	人 順調	アジア女性会議や市民向けの 研究報告会、、男女共同を での開催を での での で で で で で で で で で で で の で で で の で い の で し い の で し い る い の で し い る い る い る い ら い ら い ら い ら い ら ら に い ん ら ら ら に ら り ら り ら り ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	順調	本市の男女共同参画社会の形成の推進に向け、2016年度に着手したフォーラムのあり方等の検討内容を踏まえ、事業の見直し等を行う。